■ 平成21年度「全国地域づくり推進協議会会長賞」を授賞しました。

平成21年度　国土交通省・全国地域づくり協議会主催　「地域づくり表彰」を授賞・地域づくり交流会議への参加し、賞状が授与されました。　　平成21年10月17日～18日　長野県原村

出席者：三升正直理事長・三浦一泰会員・阿部光浩会員

写真　原村総合体育館にて
　右から三浦会員、三升理事長、現地調査をした大西隆審査委員長（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授）、阿部会員

10/22 朝日

全国地域づくり推進協

「みなとしほがま」会長賞

市長に受賞報告

塩釜市の歴史と文化を発掘し普及活動を続ける「NPOみなとしほがま」が、国土交通省の「全国地域づくり推進協議会会長賞」を受賞し、三升正直理事長（前同市長）が20日、佐藤昭市長に受賞を報告した。県内の受賞は17年ぶり。

「みなとしほがま」は「海と社を生かしたまちづくり」を目標に03年12月に設立し、会員数は約60人。史実を学術的に解読する「古文書」▽歴史遺産を掘り起こす「歴史的建造物保存活用」▽歌枕・塩釜の和歌百首を編集する「みなとカルタ」▽塩釜ゆかりの平安貴族の伝承を探って交流を図る「京都との縁」▽観光ボランティア▽江戸期に漂流の末、日本人初の世界一周を果たした若宮丸の「津太夫・左平顕彰」の6部会で活動している。

これまで古地図や写真集、子供向け教科書を発行。大正建築の「亀井邸」の保存に取り組んだほか、廃仏毀釈で埋もれていた名刹の向拝（社殿などの正面のひさし部分）を酒造会社の玄関に移転させたなどの多くの実績がある。

現地調査した審査員からは「歴史を生かした地域づくりのモデルになりうる」と高い評価を受けた。

三升理事長は「受賞を励みに、さらに活動を精査・整理して、実のある地域貢献をしたい」と話した。【渡辺豊】

復元された向拝をガイドする「みなとしほがま」のメンバー＝今年1月、塩釜市政策課提供

■「平成21年度市政功労　感謝状」を授賞しました。

平成21年11月17日　ふれあいエスプ塩竈において、観光ボランティアガイドのこれまでの活動が評価され、塩竈市より感謝状が授与されました。

各部会の活動報告（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

■古文書部会

部会長　斎藤　善之
庶務担当（報告者）　三浦　一泰

1.『新釈 奥鹽地名集』の出版に向けた活動

第７期は、東北学院大学経営学部斎藤善之教授の主宰による、本市の江戸時代の代表的地誌『奥鹽地名集』の解説文の編集を行ってきた。毎週１回、計32回の開催となった。また、関係古文書や古絵図などの所有者を訪ね、ヒアリング調査や写真撮影も実施してきた。翻刻の勉強を開始した平成16年から数えると二百数十回にわたる勉強会を継続してきたこととなる。これらの集大成として平成22年12月23日に『新釈 奥鹽地名集』の発行を予定している。第８期においては発行に対する協賛金の募集活動なども実施している。

2．古文書部会の新会員募集に向けた活動

第７期までは８名の会員。第８期からの会員拡大に向け、塩竈市の広報紙などを通じて新会員を募集した。平成22年度10月から４名の新会員が加入。計12名が、斎藤教授の指導の下、「塩釜村風土記」を通して崩し字の翻刻の勉強を開始している。

3．亀井邸ガイド資料の編集、講義

平成22年２月６日、亀井邸において「亀井邸とその歴史について」の講義を行った。これはボランティアガイド部会が主催したガイド育成講座で､同邸の歴史などを記載した資料を編集し、それを教材に実施した。今後に向けては、来邸者向けのリーフレット作成などが課題となっている。

■ボランティアガイドの会

部会長　鈴　木　和 榮
副部会長（報告者）　高 橋 幸 三 郎

1．活動について

（1）鹽竈神社境内のボランティアガイドの活動

毎週土・日の10：00～12：00まで、参拝客を対象に、無料にて実施しています。 平成21年10月　3日～ 12月13日　の22回・ 平成22年　4月　3日～ 9月 26日の50回合計72回 述べ約2,000名の方をガイドしております。

鹽竈神社境内のガイド風景

（2）イベントへの参加

①「塩・海　あらたな船出　しおがまルネッサンス」（塩釜商工会議所主催）への参加。
地域資源を活かした観光と特産品の開発のために、商工会議所が企画。浦戸諸島散策と「浦戸丼(アナゴ丼)」の試食、「美術計画」の鑑賞などを9月20日～10月4日まで計5回、一般参加者100名（1回20名）をガイドしました。(今年度は10/3(土),4(日)の2回)
当会からは、1回4名ずつ延べ20名がガイドとして参加しました。

浦戸丼

浦戸のガイド風景

②「塩・海　あらたな船出　しおがまルネッサンス」の第２弾としノルデックウォーキングの会員の方々に浦戸をガイドしました。私たちもスティックを持ち、寒風沢を出発し、日和山の名所を散策し、渡船にて野々島へ、そして、浦戸丼を試食というコースでした。寒風沢や野々島はほぼ一周しました。12月7日(月)・14日(月)の2回　40名を案内しましたが、浦戸の歴史への興味と共に、浦戸は、ノルデックウォーキングにも最適との評価も得ました。

③「しおがま様神々の花灯り」（4月17日（土））に参加し、鹽竈神社境内のガイドを実施しました。

④ 駅長オススメの小さな旅「しおがまさま神々の月灯り」見学と鹽竈神社門前町商店街巡りにガイドとして参加しました。　10/3（土）17：50～ 20：00 約18名

（3）その他のボランティアガイドの活動

① ＪＲ東日本の『旅市』（ＪＲ東日本）への積極的な協力を行いました。

※ 4/1～9/30の6か月間に、主に関東方面からの、依頼のあった旅行者に午前10時30分より午後3時まで、下記についてガイドを行いました。

※ 本塩釜駅 ― 及川商店(藻塩作り) ― 御釜神社 ― 亀井邸 ― 神社境内 ― マリンゲート

実施日　17回　　案内人数　延45名

② 今年も玉川小学校より依頼があり、神社境内や御釜神社などをガイドしました。

6月18日（金）10：00～11：30　玉川小3年生　55名

生徒からは、前もって様々な質問を受けていますが、その答えにも苦心しました。担当の先生を通して、子供たちの手書きのたくさんのメッセージをいただきました。感動とともに子供たちへ伝えることの大切さとその難しさも実感しました。

③ 仙台在住の女声合唱団「パパラチア」から依頼があり、4月9日に神社境内のガイドを実施しました。最後に、裏坂で、「埴生の宿」を歌っていただきました。感激しました。

女声合唱団「パパラチア」とガイドの方々

④ 青年会議所（ＪＣ）の東北部会が塩竈であり、25 名の方々を、神社境内を中心にガイドしました。
5 月 16 日（日）7：00～9：00

⑤ 日本ガス協会東北部会の集会が塩竈であり、参加された 30 名の方々を、御釜神社や鹽竈神社境内に案内しました。　5 月 28 日（金）9：30～11：30

⑥ 白河公民館や、落合公民館からの依頼で､市民グループの方々の神社ガイドを行いました。
6 月 18 日（金）14：00～15：00　　7 月 23 日（金）13：00～14：00

⑦ クラブツーリズム・仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会・塩竈市の共催で 仙台宮城日帰りバスツアー”伊達なバス旅”「しおがまさま参拝と門前食べ歩き　塩釜仲卸市場と松島おさんぽ」の企画があり､神社境内のガイドを実施しました。
2009 年　10/17（土）　30 名　10/24（土）23 名　　2010 年　9/16(木）30 名

⑧ 塩竈観光物産協会・塩竈市産業部商工観光課より、クラブツーリズムのツアーのうち、２泊３日の 1 日を塩竈で過ごしてもらい、仲卸市場や商店街、神社などで塩竈のおもてなしを体感してもらう・・・という企画があり、神社境内のガイドとして協力しました。実施回数は､５月～９月までの４ケ月で３１回を数えました。１回のツアーで 30 名～40 名にもなり､多くの方に喜んでいただきました。

⑨ その他バスツアーのガイド依頼があり、上記以外でも「大人の休日倶楽部」や「はとバス」など 33 回のガイドを行いました。(延約 900 人の方）また､個人的な案内の依頼もあり、6 回のガイドを行いました。

（4）「ボランティアガイド養成講座」の実施

今年も、会員の研修及び新会員の発掘を兼ねて「ボランティアガイド養成講座」を、主に塩竈市公民館を会場に、下記の通り開講しました。45 名が受講し、会員を除く 16 名に「ボランティアガイド認定証」を授与しました。

第１回　1月23日（土）「裏坂界隈」鈴木和榮氏　「桜あれこれ」佐藤静夫氏
第２回　1月30日（土）「文学と塩竈」渡辺誠一郎氏
第３回　2月　6日（土）「亀井邸とその歴史について」三浦一泰氏
第４回　2月13日（土）「奥塩地名集にみる江戸時代の塩竈・ガイド心得」斎藤善之教授
第５回　2月20日（土）「浦戸諸島と津太夫・左平」綿晋氏　高橋幸三郎氏
第６回　2月27日（土）「鹽竈神社の由緒とガイドについて」近藤優禰宜
第７回　3月　6日（土）「北浜沢乙線沿線と塩竈市概要」阿部光浩氏

3月13日(土)に会員による神社境内のガイドを実施し、講座の仕上げとしました。その後、亀井邸において三升理事長出席のもと、「ボランティアガイド認定証授与式」を行い、昼食に用意した『塩竈藻塩弁当』で懇親会となりました。

（5）研修会の実施

① 4月17日（土）11:00～　会員の佐藤静夫氏を講師に「桜探訪会」を実施しました。

② 8月28日（土）14：30～　「祓が崎稲荷神社　探訪会 ～ 300キロの天狗面と切りえ」と題し、榊原宮司を講師に祓が崎稲荷神社の探訪会を実施しました。

（6）月例会の実施

主に毎月末の土曜日午後に、マリンプラザや協働推進室で、11回実施しました。問題点を話し合い、また、今後の予定の確認等をしております。

2.今年度の抱負

今年度は、「旅市」や塩竈観光物産協会からの依頼などで、新たな企画も大幅に増え、昨年度の３倍以上のガイドを実施しました。すでに、来年度のガイド依頼も続々ときており、嬉しい悲鳴を上げております。活動の維持・発展には、新会員の募集も必須ではありますが、できれば、ゆっくりと、もう一度足元を確かめながら、活動をしてゆきたいと考えています。また、多賀城や松島のガイドとの連携・交流もすすめていきます。

■　歴史的建造物保存活用部会

部会長　高橋　幸三郎
亀井邸プロジェクトリダー　神谷　統
副部会長(報告者)　大和田　庄治

1）「海商の館・亀井邸」文化交流業務委託の実施

期間　平成21年10月1日から22年9月30日

国の緊急雇用対策事業の一環として行われることになった「亀井邸施設案内管理業務委託」を塩竈市より受託し、施設の案内・市内観光案内・施設管理及び各市民団体のイベント時における人的・物的な協力を行いました。また、NPOの常設展示として、津太夫・左平顕彰部会と連携し「初めて世界一周した日本人　津太夫・佐平」及び「開陽丸と塩竈」のパネル展の開催。カメイ㈱元役員の小沢氏よりお預かりしている亀井商店ゆかり品々や市内在住の書道家 鎌田直衛氏の作品の展示。塩竈の新商品である藻塩やそれを活用した製品の数々を紹介するミニコーナーを設置し、来館した観光客や市民の方々に塩竈の新たな魅力の情報発信を行いました。また、ブログを開設し亀井邸開催のイベント情報や日常の出来事を紹介、昨年8月の開館から述べ1万３千人の方々が来館しました。なお、昨年10月から9月まで行われた各団体等によるイベント等の主なものは以下の通りです。

○　平成21年10月 2日 ～ 平成21年10月 3日　「月見カフェ」～月と日本酒を愛でる会～
○　平成21年 9月27日 ～ 平成21年10月13日　オランダのフォークアート「ヒンデローペン展」
○　平成21年10月18日　皖山会一音舎「邦楽鑑賞会」

○　平成21年11月28日　「亀井商店と塩竈の商いと暮らしの記憶」調査報告会
○　平成22年 2月27日 ～ 3月 3日　塩竈 de ひなめぐり
○　平成22年4月15日～18日　桝蔵順彦 『織の世界』
○　平成22年4月22日～30日　さくらさく アーティストの饗宴
○　平成22年5月20日～25日　ガラスアートティンクル展
○　平成22年9月24日～25日　月見カフェ

月見カフェ

「亀井商店と塩竈」報告会

塩竈 de ひなめぐり

書道家 鎌田直衛氏の作品を常設展示

亀井家ゆかりの品を展示

津太夫・佐平パネル展

２、亀井邸活用事業

亀井邸の活用事業として、日本財団の助成を受けて「開陽丸と塩竈」のパネル展及び図録を製作しました。

開催時期　　平成２２年４月１５日～７月１８日
　　平成２２年９月１日～９月３０日　現在も開催中
入場者数　　３，０５０人

また、現在、明治後期から昭和初期まで、塩釜港を基点とし東北の経済活動に大きく貢献した三陸汽船や明治初期から大正期にかけて塩釜の発展に尽くした白石廣造氏の功績とラッコ船拿捕事件を題材としたパネル展の開催等及び、昭和初期の塩釜港の歴史を刻む模型の制作の準備を行っている。

■　しほがまみなとカルタ部会・京都の縁部会

部会長　阿部　　光浩
作成者　大和田　庄治

■　光源氏が愛したまち塩竈・「源氏物語と塩竈」を開催準備

期間　　平成22年10月30日～11月７日
場所　　海商の館　亀井邸

「源氏物語」と「塩竈」のゆかりの数々を紹介するパネル展及び各種イベントを塩竈市職員互助会60周年記念事業として、塩竈市と当NPOが企画、協力して実行委員会を組織し実施予定。内容としては、東北福祉大学花井教授監修によるパネル展、日本刺繍（大西繁治氏他製作）による源氏物語絵巻の展示、源融ゆかりの香席、茶会、平安時代の古代笛の演奏会など、日本文化に息づく「源氏物語」を多彩な手法を用いながら、塩竈との関わりをについて、広く市民や市外の方々に情報発信を行う予定。

※　この企画は、無事終了しました。なお、期間中1,097名の来場者がありました。詳細については、次年度の活動報告で行います。

■　津太夫・左平顕彰部会

部会長　綿　晋

１、パネル展　「鎖国の時代に世界一周した若宮丸の津太夫と左平」

日本人の海外渡航が禁止されていた江戸時代に、若宮丸の船員達は世にも貴重な体験をしました。彼らが見聞した世界の様子は、「環海異聞」に集大成され、ロシア学と世界情報の基本文献となりました。

彼らが見てきた世界の一端を２８枚のパネルで、市民の方々や観光客に紹介しました。

・展示期間：平成２１年１１月１日（日）から平成２２年４月１３日（火）
　　平成２２年７月２０日（火）から平成２２年８月３１日（火）
・展示日数：　１２３日
・場　　所：　亀井邸（塩竈神社裏坂）
・入場者数：　４，２７０人

２，演　　劇　「海よりも風よりも」

演劇教育に取り組んでいる浦戸二小、浦戸中の児童生徒が若宮丸を題材にしたオリジナル演劇「海よりも風よりも」を公演することになり、講話と会場でパネル展示を行った。

・公　演　日　演劇「海よりも風よりも」　　平成２１年１０月２４日　塩釜市立浦戸中学校　講堂
　　平成２１年１０月３１日　塩釜市　遊ホール

３，　クラシック演奏会「しおがま遊ホール　ファミリーコンサート」～音楽と津太夫の冒険～

江戸時代に塩竈市浦戸出身の船乗り、津太夫らが漂流して世界一周した若宮丸を題材にしたクラシック演奏会が開催された。指揮は本市出身の大浦智弘さん。演奏は「オーケストラ・ドゥ・センダイ」で７０人の大編成で奏でられ大盛況であった。また、丹野六右衛門さんが船長の服装で会場を船に見立て、津太夫の冒険のイメージを膨らませる進行役を努めた。

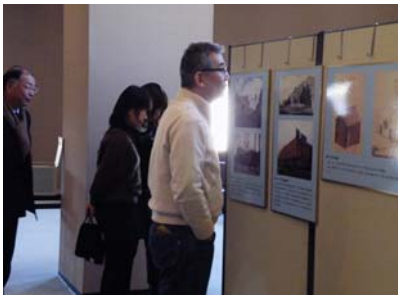
・日　　時　　平成２２年２月７日（日）　１４：００　開演
・場　　所　　塩竈市遊ホール
・　パネル展示　会場受付周辺及び５階待合空間を利用して、「若宮丸の津太夫と左平」のパネルを展示し、休憩時間に解説を行った。

若宮丸で漂流後、シベリア横断
津太夫の冒険 音に乗せ
全曲ロシア作品で構成
あす塩釜でクラシック演奏会

４，研　修　会

「初めて世界一周した日本人　若宮丸の津太夫と左平」

ボランティアガイド養成講座で「津太夫、左平顕彰会」の活動と、「若宮丸の津太夫と左平」について講話を行った。



・日　　時　平成２２年２月２０日（土）　１４時～１５時
・場　　所　塩釜市公民館　２階会議室
・講　　師　津太夫、左平顕彰部会　部会長　綿　　晋
・参加者　　ボランティアガイド講座受講生及び会員
・資　　料　「若宮丸の津太夫と左平」の小冊子等及びパネル２８枚

５，小冊子の販売

・亀井邸の「塩竈の名産品コーナー」で「若宮丸の津太夫と左平」の小冊子を販売し、ＰＲを図っている。